

# 鹿児島県立大島病院



病院全景



救命救急センター外観



院長 眞田純一 先生

## 実習施設情報

★<http://hospital.pref.kagoshima.jp/oshima/>

所在地	〒894-0015 奄美市名瀬真名津町18番1号
施設長	眞田 純一
実習担当者	名前 : 総務課 濱田 連絡先 : 0997-52-3611(代表)
診療科目	総合内科、消化器内科、循環器内科、整形外科、眼科、精神科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、神経内科、産婦人科、歯科・口腔外科、小児科、皮膚科、放射線科、外科、消化器外科、泌尿器科、麻酔科、病理診断科、人工透析科、救急科、リハビリテーション科
診療時間	受付8:00～10:00 ※詳しくはホームページ参照 土・日・祝・年末年始休診
病床数	400床 運用350床 (結核病床15、感染床4、ICU4、HCU6)
スタッフ	常勤医師41名、非常勤1名、研修医(管理型定員14名、鹿児島大学協力型若干名)看護師274名、薬剤師9名、臨床検査技師12名、診療放射線技師10名、理学療法部8名、栄養士3名、事務職員18名、労務職員7名
設備	心臓血管造影装置、核医学診断装置、CT(80列)、MRI、レーザー、ガンマカメラ、リニアック、超音波診断装置、内視鏡検査装置、呼吸機能検査装置、マンモグラフィ、脳波、筋電図、ホルター心電図、APG、体外衝撃波結石粉碎装置、高圧酸素治療装置、血液透析器など
院長からのメッセージ	当院は奄美群島の中核病院であり、鹿児島本土から遠く離れているため、全ての疾患の自己完結を目指しています。一次から三次医療まで対応するため、たいへん忙しい病院ですが、その分たくさん臨床修練を積むことができます。さらに、平成26年6月に救命救急センターを開設し、平成28年12月からは奄美ドクターヘリを運航しており、奄美群島における救急医療の拠点として救命率の向上に努めているところです。一方では地域医療支援病院として、周辺の医療機関、老健、介護施設との連携にも努めています。離島医療の現状、問題点なども実感し、理解していただければと思います。

## 実習施設の特徴・実習内容

奄美群島における唯一の公立総合病院です。救急指定病院(救急患者数:年間約12000例)、災害拠点病院、地域がん診療拠点病院、地域周産期母子医療センター(分娩数:年間約400例、NICU:5床)等多くの認定を受けており、地域におけるほとんどすべての疾患に係る、最終的な受け皿の役割を担っています。また多くの学会の研修指定病院、そして初期臨床研修基幹型病院です。実習では、研修医を含め若手の医師と行動を共にしてもらいます。また、診療科についても、学生の希望に沿ったスケジュールを立てます。救急医療については、当直医とともに夜間の実習を体験してもらいます。

## 宿泊について

### 鹿児島県立大島病院 救命救急センター内 宿泊室

住所／電話番号	奄美市名瀬真名津町18番1号(県立大島病院敷地内) 0997-52-3611(担当者:総務課 濱田 様)
食事	<b>※現地でかかる食費は、すべて自己負担です。</b> 朝食:調達 昼食:調達 夕食:外食or調達 近くに、スーパー・コンビニ・ドラッグストアがあります。
設備	インターネット(Wi-Fi、LAN)・洗濯機(共同)・洗濯洗剤・冷蔵庫(共同)・冷暖房・トイレ・お風呂・タオル・コンロ(IH1口)・調理器具(ケトルのみ)・TV・ドレイヤー・シャンプー・リンス・ボディスープ ※部屋は個室、備え付けベッドあり
前年度実習者からのアドバイス	・食費と交通費がかかるので、多めに準備をすることをお勧めします。

## 過去の実習の様子



診療の様子  
(住用診療所実習)



ヘリポート  
(県立大島病院実習)



鶏飯



奄美の海